

博物館・資料館事業

☆施設管理運営事業

文化博物館・郷土資料館ともに、開館から15年以上が経過し、部品の摩耗等による設備の修繕が目立つようになってきた。緊急度に応じて、予算の範囲で修繕を行った。また、施設管理運営事業費については、光熱水費や設備点検等が主な内容となるが、経費節減や価格交渉により支出を抑える努力をした。

文化博物館入場者数一覧

(単位:人)

月	大人		学生		小人		幼児	計
	有料	無料	有料	無料	有料	無料	—	
4月	86	3	2	0	2	23	2	118
5月	70	39	7	33	4	6	1	160
6月	93	111	0	27	0	407	4	642
7月	121	19	2	0	3	16	3	164
8月	230	56	6	7	11	27	17	354
9月	50	0	3	0	4	0	2	59
10月	33	1,089	3	0	0	513	4	1,642
11月	64	65	12	15	3	60	0	219
12月	32	15	2	0	0	13	0	62
1月	20	1	3	0	0	13	0	37
2月	19	2	3	0	0	10	1	35
3月	83	10	6	0	3	22	0	124
合計	901	1,410	49	82	30	1,110	34	3,616

※ 10/18・19は「関西文化の日」のため入館無料

日吉町郷土資料館入場者数一覧

月	開館日数 (日)	大人 (人)	高大生 (人)	小中生 (人)	招待券 (人)	無料入場 者数(人)	合計 (人)
4	21	51	2	0	0	16	69
5	20	200	21	35	0	67	323
6	21	162	43	33	0	32	270
7	21	68	4	1	6	23	102
8	27	179	9	43	10	74	315
9	20	61	2	14	0	11	88
10	23	321	0	70	0	15	406
11	20	356	2	18	2	182	560

12	15	44	0	3	0	16	63
1	16	18	0	1	0	65	84
2	17	58	0	0	0	119	177
3	21	46	0	2	0	22	70
計	242	1,564	83	220	18	642	2,527

※ 11/21・22は「関西文化の日」の為、入館無料

☆ 展示会事業

① 文化博物館春季企画展「匠たちの技と美—日本伝統工芸近畿展より—」

春季企画展では、第44回日本伝統工芸近畿展に出品された工芸作品を紹介した。日本伝統工芸近畿展は、伝統工芸の技を受け継ぐ作家が多数在籍する日本工芸会近畿支部などが主催する展覧会で、これまで伝統工芸の普及と発展に大きな役割を果たしてきた。本展では、田辺小竹氏の《舟形花籃「出帆」》(日本伝統工芸近畿賞)をはじめとする受賞作品のほか、重要無形文化財保持者の作品など57点を展示した。

伝統工芸は、本来、人々の生活とともに受け継がれてきたものだが、現在では目にする機会も減少し、生活とはかけ離れたイメージが強くなっている。そのため、本展では、伝統工芸により一層親しんでいただけるよう、作品とともに作家の経歴やコメントなどを紹介したほか、子ども向けの解説リーフレット『工芸ってなあに?』を発行し、来館者への配布を行った。また、オープニングイベントとして出品作家7名によるリレーギャラリートークや市内の小学生を対象に京都美術工芸大学の学生によるギャラリートークを開催した。

期 間：平成27年5月30日から6月21日

開館日数：20日間／展示点数：57点／入館者数：744人

② 文化博物館特別展「戦争と南丹市～子どもたちへ語り継ぐ戦争展」

戦争の記憶を後世に伝えるために平成24年度より毎夏に開催してきた戦争展は、平成27年で4年目をむかえた。これらの展示会は、戦争の悲惨さ平和の尊さを後世に伝えるため、戦後70年となる本年を目標に開催してきた。この展示会その集大成となるもので、戦前から戦中、戦後にかけての生活にスポットをあて、苦難の時代を乗り越えた人々について考えた。特に平易な文章を表現や短い解説文章を意識して用い、子どもたちにもわかりやすい内容となるよう心掛けた。

期 間：平成27年7月18日(土)～8月30日(日)

開館日数：38日間／展示点数：約200点／入館者数：489人

・郷土資料館夏季特別展「戦争と南丹市～号外でふりかえる戦後70年～」

文化博物館での展示会と連動するかたちで、戦後70年間に起こった出来事を紹介した号外を中心に、戦後の日本の歩みを振り返った。

期 間：平成27年7月18日(土)～8月30日(日)

開館日数：38日間／展示点数：約100点／入館者数：384人

③ 文化博物館秋季特別展

「学校のあゆみ～園部地区編～」

南丹市の小学校再編で平成 27 年 3 月をもって閉校となった市内 10 小学校の中から、園部地区の 5 校（園部・園部第二・川辺・摩気・西本梅小学校）を紹介した。これらの学校は、平成 11 年に園部小学校より分離開校された園部第二小学校をのぞいて、いずれも 140 年を越える歴史を有している。

この展示会では、各校で長年にわたって蓄積・保存されてきた教材や日誌、写真などからそれぞれのあゆみを振り返るとともに、校内で保管されていた民俗資料や古文書なども展示し、それらから学校と地域の関わりについても考えた。

期 間：平成 27 年 10 月 17 日（土）～12 月 13 日（日）

開館日数：50 日間／展示点数：約 200 点／入館者数：1,815 人

④ 工芸展（南丹市工芸家協会展）

南丹市在住または、南丹市内に創作活動の拠点を置く工芸家で組織される「南丹市工芸家協会」が、主催する第 4 回作品展を開催した。

期 間：平成 27 年 10 月 10 日（土）～10 月 18 日（日）

開館日数：9 日間／展示会場：文化博物館 1 階（西側）

出展内容：出展者数 12 名、展示総数 20 点（陶芸・木工・染織・漆工芸）

⑤ 郷土資料館秋季企画展「向井潤吉展～ふるさとの風景～」

向井潤吉は京都生まれ、関西美術院で洋画を学び、その後渡欧し洋画の技法や表現を磨いた。戦後間もない頃からかやぶき民家を題材にした作品の制作をはじめ、高度経済成長の中、失われていく風景の記録をライフワークとして、日本の原風景を描き続けた。そうした足跡は南丹市域にもあり、美山文化ホールには向井の作品が残されている。

この展示会は、京都府・京都文化博物館などの協力を得て、かやぶき民家を描いた作品 25 点を展示し、向井潤吉の画業を紹介した。

期 間：平成 27 年 10 月 10 日（土）～11 月 23 日（月・祝）

開館日数：33 日間／展示点数：25 点／入館者数：958 人

☆体験講座開設事業

日吉町郷土資料館

平成 27 年度の体験講座については、恒例事業をもとに内容的に見直しを検討し、新しい試みを積極的に取り入れることができた。「新緑祭」では、歴史をテーマに大人向け講座として山城跡探検を取り入れた。また、秋の体験講座では、和知人形浄瑠璃会の協力を得て、かやぶき民家で人形浄瑠璃を上演した。この講座に関しては、特に参加者の募集をしなかったため、開演まで集客数が把握できなかったが、多くの参加者を迎えることができた。特に介護施設関係の方たちが来館されたことは、今後の事業展開で参考としたい。

○府民の森ひよし「新緑祭」関連イベント

5月のゴールデンウィーク期間中、京都府およびスチールの森京都(府民の森ひよし)共催で郷土資料館内において各種の事業を行った。

平成27年5月3日(日・祝)

- ・「山城跡探検」午前10時～正午(要予約)

場 所：旧天若世木林集落

案 内：郷土資料館館長 辻健二郎 他当館職員

内 容：世木林城は、桂川の左岸北方向に延びる尾根の上にあったといわれ、郷土資料館で平成17年度企画展「丹波動乱—内藤宗勝とその時代—」での図録に掲載されている山城跡である。かつて天若に存在した山城跡を探索しながら、歴史的背景に触れてもらった。

参加人数：6人

- ・ボランティアグループ「ぼぼたん」ミニコンサート 午後1時30分～

場 所：郷土資料館中庭

出 演：ボランティアグループ「ぼぼたん」

内 容：童謡や手遊びをしながら、小さな子ども向けの歌を披露してもらった。

平成27年5月4日(月・祝)

- ・「銭太鼓」実演 午後1時～3時

場 所：南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家

指 導：四ツ谷東谷いきいきサロン秋桜会

内 容：銭太鼓は出雲地方の伝統民謡の安来節に演じられるもので、簡単なリズム楽器として地域のいきいきサロンなどによく使われている。当日は東谷いきいきサロン秋桜のみなさんの指導による体験講座で、銭太鼓の製作と実演をお願いした。材料は身近にあるものを基本に、親子で作って最後はドラえもんの曲に合わせてみんなで踊った。

参加人数：24人

平成27年5月5日(火・祝)

- ・「つくってあそぼう」 午前9時～午後4時30分

場 所：南丹市日吉町郷土資料館敷地内

指 導：当館職員

内 容：かやぶき民家内では折り紙やトイレットペーパーの芯、割りばしなど身近な材料を用いて作れるおもちゃを紹介した。屋外では、竹馬・シャボン玉・割りばしロケットなど行った。

参加人数：121人(資料館全体の入館者数)

- ・「紙ヒコーキ飛ばし大会」 午後2時～4時

場 所：南丹市日吉町郷土資料館中庭

担 当：資料館職員

内 容：参加希望者を募り、自身で作成した紙ひこうきで飛距離を測定し、結果により1位から3位までを表彰、当館手作りの賞状とメダルの授与式を行った。

エントリー人数：37人

- ・「餅つき大会」 午前11時30分～午後1時30分
場 所：南丹市日吉町郷土資料館中庭
協 力：ボランティアグループさくらんぼ
内 容：中庭で餅つきを実施。例年実施しているが混雑する時もあるので、27年は整理券を作成して対応した。

○体験講座「朴葉ご飯づくり」

- 実施日：平成27年6月21日（日） 午前10時～正午
場 所：南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家
指 導：伝承料理ボランティアグループさくらんぼ
内 容：日吉地域では、田植え時の“こびる”に朴葉にくるんだご飯を食べる習慣があった。季節がら朴葉が青く繁るころ、殺菌作用があることからこの葉を用いてご飯を包むことが行われていたという。資料館では、季節を感じる体験講座として毎年実施している。
参加者：8人

○体験講座「戦争を語る」（展示会関連事業）

- 実施日：平成27年8月8日（土） 午前10時30分～午後1時30分
場 所：南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家
協 力：ボランティアグループさくらんぼ
内 容：京都府立亀岡高等女学校の卒業生による勤労働員での体験談と京都市立九条塔南小学校の卒業生による学童疎開での体験談を語ってもらった。また、昼食には、戦時食の再現としてサトイモを使ったおはぎと当館で収穫した野菜で汁物を試食した。

○体験講座「白みそづくり」

- 実施日：平成27年11月22日（日） 午前10時～正午
場 所：日吉町郷土資料館 かやぶき民家
内 容：正月の白みそづくりは、かつて親から子へと家庭の中で、伝統的な味を守り続けてきた文化であり、毎年資料館において郷土の伝承料理として紹介し続けてきたものである。
協 力：ボランティアグループさくらんぼ
参加者：13人

○体験講座「人形浄瑠璃」

- 実施日：平成27年11月23日（月・祝） 午後1時30分～3時
場 所：南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家
協 力：和知人形浄瑠璃会
内 容：「傾城阿波ノ鳴門十郎兵衛住家の段」を上演した。
観覧人数：約80人

○体験講座「締め縄づくり」

- 実施日：平成27年12月23日（水・祝） 午前10時～午後3時
場 所：南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家及び周辺
講 師：塩貝佳素夫氏（南丹市日吉町胡麻在住）・田中豊一氏（南丹市日吉町中世

木在住)

協 力：日吉町観光協会／ボランティアグループさくらんぼ

内 容：お正月のしめ飾りとして、大小3種類のしめ飾りを作った。昼食には、休憩も兼ねて餅つきを行った。今回は子どもの参加もあり、参加者みんなで餅つきを楽しんだ。その後、資料館の畑から収穫した野菜を加え雑煮を作り食した。

参加者：18人

○「年中みそづくり」

実施日：平成28年3月6日(日) 午前10時～正午

場 所：南丹市日吉町郷土資料館かやぶき民家

指 導：ボランティアグループさくらんぼ

内 容：毎年この時期に仕込む年中みその体験講座でボランティアグループさくらんぼと共催で行っている。年中みそは文字通り毎日使うみその事で、白みそ同様、郷土の伝承料理として紹介している。

参加者：11人

☆調査研究事業

文化博物館

収蔵資料目録として、「麻田浩銅版画コレクション」を3月末に発刊した。掲載した作品は麻田浩氏のご令息・ご令嬢より、平成28年3月に寄贈いただいた151点を掲載したもの。麻田浩氏の版画作品は福井県立美術館(約70点)京都国立近代美術館(約30点)を凌ぐ所蔵点数となる。

この他の出版物としては、1年間の博物館活動をまとめた「博物館だより」を3月末に発刊を行った。

☆収蔵品保存事業

文化博物館・郷土資料館ともに平成27年度に寄贈を受けた資料について目録化を進めた。資料のガスくん蒸については、平成27年度寄贈分とあわせて、収蔵庫へ保管を行う予定。劣化の進んでいる寄贈資料や寄託資料などについては、必要に応じて補修・修繕を行った。特に、27年度については、27年3月に学校再編により閉校となった園部・八木地域の小学校の資料を受入れ整理を行った。

また、例年、資料の目録化を進めているが、今年度についても昨年度に引き続き、特に、博物館・資料館で所蔵している記録写真のデータ化を行った。写真資料については、経年劣化が激しいため、デジタル化することにより、現状を記録することができる。また、写真を使用する場合、原資料を使用・貸し出しすることがなくなり、劣化・紛失が起る可能性を防ぐことができる。

☆資料購入事業

町村合併し、南丹市が発足したことにより資料収集対象地域が拡大したが、市内に関

する資料を幅広く収集することを目的として活動した。

特に、27年度は郷土出身の画家（大塚春嶺・田村宗立）の作品や市内の古文書などの収集に努めた。

文化財保護

南丹市国・府・市指定文化財等件数

平成28年3月31日現在

種 類		国指定	国登録	府指定	府登録	市指定	合 計
有形文化財	建造物	6	7	6	8	17	44
	美術工芸品	2		6	3	54	65
民俗文化財	有 形					1	1
	無 形	1		2	10	2	15
記念物	史 跡			2		1	3
	名 勝	1					1
	天然記念物			1		8	9
伝統的建造物群保存地区		1					1
計		11	7	17	21	83	139

府文化財環境保全地区	7地区
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	1

☆審議会

1. 文化財保護審議会

南丹市文化財保護条例第9条の規定により、文化財保護審議会を設置し、文化財の保存及び活用を図るため、調査・研修等を行っている。構成員は旧町ごとに3名ずつ選出された委員と、大学教授3名の計15名で構成している。

(1) 南丹市文化財保護審議会

- ・日時 平成27年12月10日（木）午前10時～
- ・場所 美山町北 北公民館
- ・内容 協議事項 ア. 文化財事業の報告（H26）
イ. 博物館事業の報告（H26）
ウ. 27年度事業の概要

エ. 文化財指定について

オ. 質疑応答

カ. その他

- ・ 現地確認 北稻荷神社のトチノキ (美山町北)
- ・ 配布資料 1. 南丹市立文化博物館調査報告書第 1～4 集
2. 南丹市立文化博物館収蔵品目録第 1 集
3. 平成 24 年度企画展図録「戦争と南丹市」
4. 平成 25 年度企画展図録「歴史を伝える資料たち」
5. 南丹市立文化財調査報告第 15～20 集

(2) 第 2 回南丹市文化財保護審議会

- ・ 日時 平成 28 年 3 月 31 日 (木) 午後 2 時～
- ・ 場所 南丹市立文化博物館 2 階ホール
- ・ 内容 協議事項 ア. 平成 27 年度文化財事業の報告
イ. 平成 28 年度文化財事業の予定
ウ. 文化財指定基準について
- ・ 現地確認 小出文庫 (南丹市立文化博物館蔵)

2. 伝統的建造物群保存地区保存審議会

南丹市伝統的建造物群保存地区保存条例第 13 条第 1 項の規定により、伝統的建造物群保存地区審議会を設置し、保存地区の保存等に関する重要事項を調査、審議を行った。構成員は旧町ごとに 3 名ずつ選出された委員と、学識経験者 1 名、大学教授 2 名の 15 名で構成している。

(1) 南丹市伝統的建造物群保存地区保存審議会

- ・ 日時 平成 27 年 12 月 10 日 (木) 午後 1 時～
- ・ 場所 南丹市美山町北 北公民館
- ・ 内容 協議事項 ア. 伝建地区の現況
イ. 修理事業報告について
ウ. 現状変更行為について
エ. 修理調整会議について
オ. 北区所有物件 (小屋) の特定物件化
カ. 前田征紀家住宅の改修

(2) 第 2 回南丹市伝統的建造物群保存地区保存審議会

- ・ 日時 平成 28 年 3 月 14 日 (月) 午後 2 時～
- ・ 場所 南丹市美山町北 北公民館
- ・ 内容 協議事業 ア. 修理事業報告
イ. 現状変更行為について
ウ. その他

☆文化財保護事業

1. 調査事業

(1) 天然記念物アユモドキ生息確認調査

〈現地調査〉

- ・ 実施日 第 1 回 平成 27 年 5 月 26 日 (火)
第 2 回 平成 27 年 9 月 25 日 (金) ※河川増水のため中止

- ・調査場所 桂川 上桂川統合堰（通称：寅天堰）下流
- ・調査概要 沈床ブロックの隙間や投網等による調査を実施した。
第2回は前日からの雨による河川増水のため中止となった。

(2) 市内文化財現況確認調査

美術工芸品、建造物、民俗文化財、景観などの主に未指定文化財について、現地確認を実施する。

<美術工芸品>

場所	日にち	概要
小牧山東向観音堂 (日吉町)	平成27年度	33体観音像の現況確認。京都美術工芸大学校、殿田区との合同調査
栄久院(美山町)	5月10日、8月7日、 9月2日、11月5日	絹本着色釈迦十六善神像修理に係る事業内容の調整
肱谷観音堂 (美山町)	11月11日	仏像の現地確認
最勝寺(美山町)	11月20日	古文書等の現地確認

<建造物>

場所	日にち	概要
大隠寺(園部町)	5月26日、7月30日、 10月24日、11月25日、 1月7日	補助金事業による修理内容の確認
若宮神社(園部町)	5月28日、1月5日	補助金事業に係る修理内容の確認
春日神社(八木町)	5月19日、10月28日、 12月11日	事業内容の協議
普門院(日吉町)	5月30日	事業内容の協議
生身天満宮 (園部町)	7月27日	実施事業の確認
多治神社(日吉町)	5月30日	竣工式
加茂神社(園部町)	9月3日	本殿修理協議
大原神社(美山町)	9月15日、9月29日、 10月23日、11月25日、 2月24日	本殿等修理協議
浄教寺(園部町)	11月5日、2月4日	衝立修理協議
岩上神社(日吉町)	12月16日	現況確認
普濟寺(園部町)	1月16日	裏山伐採予定地確認
天引弁財天 (園部町)	1月26日	現地確認
生身天満宮 (園部町)	3月8日	社家住宅現況確認
摩気神社(園部町)	3月8日	今後の年度計画の協議

<埋蔵文化財>

場所	日にち	概要
島城(美山町)	1月17日	現地確認
刑部城(八木町)	3月25日	現地確認

<天然記念物>

- ・オオサンショウウオ（園部町） 平成 27 年 12 月 16 日
概要：井関改修工事現場近辺で住民が保護

<景観>

- ・ふるさと文化財の森候補現地確認調査（美山町） 平成 27 年 11 月 17 日
概要：ふるさと文化財の森候補現地確認調査
(文化庁文化財部修理指導部門 小坂研修生)

2. 普及・啓発事業

(1) 刊行図書

下記の図書を刊行。

- ・南丹市文化財調査報告第 23 集『南丹市内遺跡発掘調査報告書 10』平成 28 年 3 月 31 日
- ・南丹市文化財調査報告第 24 集『南丹市小牧山東向観音像調査報告書』平成 28 年 3 月 31 日
- ・南丹市文化財調査報告第 25 集『南丹市文化財調査報告書 9』平成 28 年 3 月 31 日

(2) 歴史体験学習

小学校の授業の中で、現地見学を行った。

体験学習一覧

番号	学校名	日時	内容	備考
1	八木東小学校	H28. 1. 16	新庄城跡	現地

(3) 美山町北重要伝統的建造物群保存地区視察対応

各地の市町村等が伝建地区を選定する動きがある中で、先進地として美山町北地区を視察のため来町され、対応した。

- ・韓国文化庁：平成 27 年 12 月 2 日午後
視察目的：美山北の取組と修理・修景事業について
視察者：韓国文化財庁、文化庁担当官
- ・京都府伊根町：平成 28 年 3 月 13 日午後
視察目的：美山町北の取り組みについて
視察者：伊根町教育委員会

(4) 文化財防火デー関連事業

文化財保護の認識と理解を深めるため、消防署の指導により文化財防火デーにかかる防火訓練と施設点検を実施した。

- ・日時 平成 28 年 1 月 20 日～26 日
- ・場所 園部町・八木町・日吉町・美山町の各対象文化財
- ・内容 防火訓練・消防施設点検

文化財防火デー関連行事一覧

<防火訓練>

実施日時	実施場所	所在地	指定種別
28. 1. 23	政徳寺	八木町諸畑	大日如来坐像（市指定文化財）
28. 1. 23	九品寺	園部町船阪	大門（国重要文化財）
28. 1. 24	中風寺	美山町豊郷	
28. 1. 24	普門院	日吉町中世木	毘沙門天立像（府指定文化財）

〈防火査察（園部町域・日吉町域・美山町域）〉

実施日時	実施場所	所在地	文化財名称
28.1.21	摩気神社	園部町竹井	本殿他（府指定文化財）
28.1.21	東向観音堂	日吉町殿田	三十三体観音像（市指定文化財）
28.1.21	賀善寺	日吉町中世木	観音像等（市指定文化財）
28.1.21	安楽寺	日吉町佐々江	薬師如来像等（市指定文化財）
28.1.21	如意寺	日吉町生畑	立花図巻（府登録文化財）
28.1.22	石田家住宅	美山町檜原	石田家住宅（国重要文化財）
28.1.22	深見寺	美山町野添	絹本著色等栄信倫禅尼像（府指定文化財）
28.1.22	八幡神社	美山町北	本殿（府指定文化財）

☆ 維持管理事業

1. 美山町北防災施設維持管理事業

伝統的建造物群保存地区である美山町北の防災設備（放水銃等）に係る維持管理。年間の点検と共に、春と秋の年間2回、一斉放水を行い、放水銃の一斉点検を行う。

- ・ 第1回 平成27年5月20日（水）
- ・ 第2回 平成27年12月1日（火）

2. 重要文化財石田家住宅維持管理事業

重要文化財の維持管理及び公開事業。

敷地内の蔵の壁の剥がれ等により倒壊の危険があるため、本年度は未実施。

3. 史跡黒田古墳環境整備事業

京都府指定の史跡で、古墳公園として整備されている黒田古墳公園の環境整備を行う。

- ・ 所在地 園部町黒田
- ・ 面積 2,097 m²
- ・ 事業内容 公園内草刈、障害樹木伐採等

☆ 補助事業

1. 南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区保存修理修景事業

南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区は、平成5年（1993）12月8日、全国で36番目の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、同年「美しい町づくり条例」を制定し、豊かな自然と茅葺民家に代表される歴史的な景観を有する町として内外から大きな注目を集めている。保存事業は、保存地区にある個々の建造物の修理修景事業を中心として進めている。

修理2件、修景3件、復旧1、合計6件

（南丹市伝建補助金総額 12,080千円 [*国庫補助・府伝建補助金含む]）

南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区事業一覧

番号	区分	記号	概要	事業費（円）
1	中野昭家住宅	N-07-①	主屋瓦葺屋根修理	1,860,000
2	稲荷神社の枳	K-01-⑦	トチノキ復旧	1,492,000

3	勝山美佐子家住宅	N-02-①	主屋トタン葺屋根修理	1,157,000
4	前田征紀家住宅	S-06-①	主屋付帯部分修景	6,665,000
5	民俗資料館	-	茅葺屋根修景	3,672,000
6	民俗資料館	-	公衆用トイレ等杉皮葺屋根修景	7,071,000

2. 茅葺民家保存修理事業

南丹市美山町内に現存する北山型住宅の茅葺屋根を保存し、美しい町並みと集落景観を守るため、要綱に基づき補助金を交付する。

修理件数 7 件（南丹市補助金総額 *7,566 千円）

茅葺民家保存修理事業一覧

番号	区分	概要	所在地	補助金額（円）
1	西村正幸家住宅	茅葺屋根葺替	野添	585,000
2	菅生守家住宅	茅葺屋根葺替	長谷	663,000
3	近藤祥恵家住宅	茅葺屋根葺替	三埜	858,000
4	村田富三昭家住宅	茅葺屋根葺替	原	1,093,000
5	野々村トクエ家住宅	茅葺屋根葺替	大野	499,000
6	久世伸一家住宅	茅葺屋根葺替	又林	1,171,000
7	河合隆家住宅	茅葺屋根葺替	音海	2,697,000

3. 南丹市文化財等補助事業

市内に所在する国・府・市の指定文化財並びに未指定文化財等に対して、要綱に基づき補助金を交付する。

修理等件数 26 件（市補助金総額 4,393 千円）

（1）主な修理事業

<京都府指定・登録文化財等補助事業>

・多治神社（平成 26～27 年度 2 か年事業）

事業概要：本殿屋根（檜皮葺）修理工事

事業費：15,164 千円【27 年度】（府 50.0%；3,950 千円、市 500 千円【上限】）

<京都府文化財を守り伝える京都府基金等事業費補助事業>

・大原神社

事業概要：本殿覆屋根修理工事

事業費：8,218 千円（府 1/2；2,000 千円、市 350 千円【上限】）

補助金事業一覽

(1) 国指定文化財維持管理費補助事業						
名称	文化財名称	事業内容	事業費	府補助	地元	市補助
九品寺	大門	防災設備保守点検	36,720	7,000	15,720	14,000
普濟寺	仏殿	防災設備保守点検	38,880	9,000	15,880	14,000
春日神社	本殿	防災設備保守点検	88,560	21,000	34,560	33,000
大山祇神社	本殿	防災設備保守点検	44,280	12,000	16,280	16,000
(2) 京都府指定・登録文化財等維持管理費補助事業						
名称	文化財名称	事業内容	事業費	府補助	地元	市補助
摩気神社	本殿・東西 摂社	防災設備保守点検	54,000	27,000	14,000	13,000
鹿嶋神社	本殿	防災設備保守点検	41,040	12,000	15,040	14,000
生身天満宮	府決定環境 保全地区	環境整備	754,800	108,000	546,800	100,000
福寿寺	帝釋天堂	防災設備保守点検	37,800	7,000	15,800	15,000
多治神社	府文化財環 境保全地区	環境整備	347,162	74,000	173,162	100,000
朝倉神社	府文化財環 境保全地区	環境整備	209,520	47,000	81,520	81,000
荒井神社	本殿	防災設備保守点検	54,000	12,000	21,000	21,000
住吉神社	府文化財環 境保全地区	環境整備	326,592	70,000	156,592	100,000
八幡神社	本殿	防災設備保守点検	43,200	9,000	17,200	17,000
(3) 京都府指定・登録文化財等補助事業						
名称	文化財名称	事業内容	事業費	府補助	地元	市補助
多治神社	本殿	檜皮葺屋根修理	15,164,280	3,950,000	10,714,280	500,000
生身天満宮	本殿	回廊樋・屋根修理	1,318,680	659,000	330,680	329,000
八幡神社	本殿	防災設備保守点検	93,960	46,000	24,960	23,000
(4) 京都府社寺等文化資料保全補助事業						
名称	文化財名称	事業内容	事業費	府補助	地元	市補助
都々古和気 神社	本殿 (未指定)	覆屋屋根修理、 アライグマ対策	1,118,804	519,000	300,804	299,000
天引八幡神 社	本殿 (未指定)	覆屋屋根修理	538,056	249,000	145,056	144,000
若宮神社	拝殿 (未指定)	拝殿耐震修理	1,944,000	902,000	542,000	500,000
日吉神社馬 駆け保存会	馬駆け (市指定)	調度品修繕	126,360	58,000	34,360	34,000
大隠寺	本堂 (未指定)	本堂屋根修理	6,829,380	1,858,000	4,471,380	500,000
向山区	瀧神社 (未指定)	御堂屋根修理	4,733,000	1,858,000	2,375,000	500,000
普濟寺	禪堂 (未指定)	禪堂茅葺屋根修理	4,638,000	1,858,000	2,280,000	500,000

日置区	大送神社の 綱引き (未指定)	祭礼資料修理	195,264	90,000	53,264	52,000
(5) 文化財を守り伝える京都府基金等事業費補助金						
名称	文化財名称	事業内容	事業費	府補助	地元	市補助
生身天満宮	神饌舎 (未指定)	神饌舎床修理	464,400	215,000	125,400	124,000
大原神社	本殿 (未指定)	覆屋修理	8,218,000	2,000,000	5,868,000	350,000

☆ 埋蔵文化財発掘調査事業

1. 立会調査

文化財保護法に基づく発掘調査の届出を基に開発事業との調整を図る。

立会調査件数 4件

届出通知件数一覧

	埋蔵文化財発掘届出 (民間)				埋蔵文化財発掘届出 (公共)		
	工事立会	慎重工事	発掘調査	その他	発掘調査	工事立会	慎重工事
計	4	19	0	0	0	1	0
総合計	24						

2. 発掘調査

間伐事業等に伴い発掘調査等を実施

南丹市が実施した調査

番号	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査種別
1	宮越古墳		園部町小山東町	太陽光発電事業	測量
2	カシヅケ古墳		園部町小山東町	太陽光発電事業	測量

3. 保存処理

金属器の保存処理は、国庫補助事業として業務を委託し、実施した。

出土遺物保存処理一覧

番号	出土地	種類	点数	備考
1	城谷口古墳群	鉄鏃等	31	
2	坊田古墳群	鉄刀等	9	
合計			40	

平成 28 年度 文化財・博物館事業

文化財保護 ・ 審議会	文化財保護審議会	年 1 ～ 2 回	文化財の保存及び活用を図るため、調査・審議を行う。
	伝統的建造物群保存地区保存審議会	年 1 ～ 2 回	美山町の保存地区の保存等に関する調査・審議を行う。
・ 保護事業	アユモドキ生息調査	5 月～9 月	天然記念物であるアユモドキの生息について調査・研究を行う。
	文化財調査事業	通年	アライグマによる寺社等建造物被害について調査等を実施する。また、補助事業に伴う未指定文化財の緊急調査などを行う。
	普及・啓発事業	通年	各種調査事業の報告書を刊行すると共に、文化財防火デーに伴う防火査察等を実施する。
・ 維持管理事業	美山町北防災施設維持管理事業	通年 (放水は年 2 回)	国宝重要伝統的建造物群保存地区に指定されている美山町北地区の防災施設(放水銃等)の維持管理。
	石田家住宅維持管理事業	4 月～11 月	重要文化財の維持管理及び公開事業(土・日・祝祭日)を行う。 ※敷地内に危険箇所があるため現在は公開を見合わせている。
	史跡黒田古墳管理事業	年 2 ～ 3 回	京都府指定の史跡である古墳公園の環境整備に努める。
・ 補助事業	文化資料保全事業	通年	国・府・市の指定文化財及び未指定の文化財に係る修理等の保全に対し、指導助言を行うと共に、補助金要綱に基づき支援する。

・補助事業	かやぶき 屋根保存 修理事業	通年	美山町に現存する北山型住宅のかやぶき屋根を保存し、美しい景観を守るための事業に対し、補助金要綱に基づき支援する。
	重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	通年	保存地区における建造物及び環境物件等の修理、修景又は復元について所有者等に対し、その経費の一部を補助する。葺替は原則80%、その他は原則50%の補助。
・埋蔵文化財調査事業	埋蔵文化財発掘調査事業	9月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間伐事業に伴う発掘調査等（八木町池上：国庫補助事業） ・ 出土遺物保存処理（城谷口古墳群出土鉄製品：国庫補助事業） ・ 各種開発事業との調整

資料館 ・展示会事業	文化博物館	4月16日 ～5月29日	春季企画展 「学校のあゆみ～八木地区編～」 旧八木地域の学校が所有した歴史資料や民俗資料を展示するとともに学校の歴史についても紹介する。
		7月16日 ～ 8月28日	夏季企画展 「平和の使者 青い目の人形」 昭和2年(1927)、日米関係改善を目指し、アメリカから日本へ青い目の人形。しかし、両国間に起きた戦争は人形をも巻き込んだ。京都府・滋賀県内内に残されているこの人形を紹介し、平和の大切さを考える機会とする。
		7月16日 ～ 8月28日	夏季特集展 「新聞・号外でふりかえるオリンピックの歴史」 今夏はブラジルのリオデジャネイロで第31回夏季オリンピックが開催される。また、4年後の2020年には東京で2回目となるオリンピックが開催される。これを記念して、オリンピックの歴史を新聞・号外でふりかえる。
		9月17日 ～ 10月16日	秋季特別展 「吉田伊佐展～四季のうつろい～」 全国育樹祭が南丹市で開催されることを記念して、日本の風景を堅実な写実力で描き続け、日展や白日会などを中心に活躍する日吉町中出身の吉田伊佐氏の作品を紹介する。

		10月22日 ～ 11月27日	<p>秋季特別展 「秋野不矩展～創造の美～」</p> <p>昭和55年(1980)から美山町に移住し、平成13年(2001)に亡くなるまで創作活動を続けた日本画家秋野不矩の作品展を開催する。</p>
・展示会事業	郷土資料館	7月16日 ～ 8月28日	<p>夏季企画展「鮎の道」</p> <p>日吉町天若地区で生きたままの鮎を京都市内まで運ぶルートを紹介するとともに、川と人々の暮らしについて考える。</p>
		10月8日 ～ 12月4日	<p>秋季企画展「山里の暮らし～木材生産と大堰川水運～」</p> <p>丹波地域で生産される材木や焚き木の流通経路について、残された史料をもとに、近世の暮らしを紹介する。</p>
		1月下旬～4月下旬(予定)	<p>収蔵品展「昔の道具展」</p> <p>毎年、小学3年生暮らしの中でこのような道具に焦点をあて、先人たちの知恵と工夫や、材質のあたたかさを来館者に感じていただく機会を提供する。</p>
・体験講座事業	郷土資料館体験講座	3回	<p>伝統文化継承のため、体験を通じて地域の人々から学ぶ場を提供する。</p> <p>特に、平成28年度は第40回全国育樹祭が府民の森で開催されることから、連携した事業展開を行う。</p>
・調査研究事業	収集資料の整理・調査研究等	通年	<p>市内の歴史的事象についての調査研究活動を行う。市に関連する資料や事象に対して、調査研究活動を行う。また、平成28年度については岩崎革也関連資料の整理を進める。</p>
・収蔵資料保存事業	収蔵資料保存	通年	<p>市内にある文化財保存・整理を行う。資料の劣化を防ぐ目的で、収蔵資料のガスくん蒸業務を行う。</p>

文化財保護

南丹市国・府・市 指定文化財等件数

平成28年10月31日現在

種 類		国指定	国登録	府指定	府登録	市指定	合 計
有形文化財	建造物	6	7	6	8	17	44
	美術工芸品	2		6	3	54	65
民俗文化財	有 形					1	1
	無 形	1		2	10	2	15
記念物	史 跡			2		1	3
	名 勝	1					1
	天然記念物			1		8	9
伝統的建造物群保存地区		1					1
計		11	7	17	21	83	139

府文化財環境保全地区	7地区
記録作成等の措置を講ずべき 無形の民俗文化財	1

☆審議会

1. 文化財保護審議会

南丹市文化財保護条例第9条の規定により、文化財保護審議会を設置し、文化財の保存及び活用を図るため、調査・研修等を行っている。構成員は旧町ごとに3名ずつ選出された委員と、大学教授3名の計15名で構成している。

2. 伝統的建造物群保存地区保存審議会

南丹市伝統的建造物群保存地区保存条例第13条第1項の規定により、伝統的建造物群保存地区審議会を設置し、保存地区の保存等に関する重要事項を調査、審議を行った。構成員は旧町ごとに3名ずつ選出された委員と、学識経験者1名、大学教授2名の15名で構成している。

☆文化財保護事業

1. 調査事業

(1) 天然記念物アユモドキ生息確認調査

〈現地調査〉

- ・実施日 第1回 平成28年5月26日(木)
第2回 平成28年9月21日(水) ※河川増水のため中止
- ・調査場所 桂川 上桂川統合堰(通称:寅天堰)下流
- ・調査概要 沈床ブロックの隙間や投網等による調査を実施した。
第2回は台風による河川増水のため中止となった。

(2) 市内文化財現況確認調査

美術工芸品、建造物、民俗文化財、景観などの主に未指定文化財について、現地確認を実施する。

〈天然記念物〉

- ・樹木確認
平成28年6月8日 日吉町
平成28年6月27日 園部町
平成28年6月30日 八木町

2. 普及・啓発事業

(1) 歴史体験学習

小学校の授業の中で、現地見学を行う。

(2) 美山町北重要伝統的建造物群保存地区視察対応

各地の市町村等が伝建地区を選定する動きがある中で、先進地として美山町北地区を視察のため来町された場合に対応する。

(3) 文化財防火デー関連事業

文化財保護の認識と理解を深めるため、消防署の指導により文化財防火デーにかかる防火訓練と施設点検を実施する。

- ・内容 防火訓練・消防施設点検

☆維持管理事業

1. 美山町北防災施設維持管理事業

伝統的建造物群保存地区である美山町北の防災設備(放水銃等)に係る維持管理。年間の点検と共に、春と秋の年間2回、一斉放水を行い、放水銃の一斉点検を行う。

- ・第1回 平成28年5月20日(金)
- ・第2回 平成28年12月1日(木)

2. 重要文化財石田家住宅維持管理事業

重要文化財の維持管理及び公開事業。

敷地内の蔵の壁の剥がれ等により倒壊の危険があるため、本年度は未実施。

3. 史跡黒田古墳環境整備事業

京都府指定の史跡で、古墳公園として整備されている黒田古墳公園の環境整備を行う。

- ・所在地 園部町黒田
- ・面積 2,097 m²
- ・事業内容 公園内草刈、障害樹木伐採等

☆補助事業

1. 南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区保存修理修景事業

南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区は、平成5年(1993)12月8日、全国で36番目の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、同年「美しい町づくり条例」を制定し、豊かな自然と茅葺民家に代表される歴史的な景観を有する町として内外から大きな注目を集めている。保存事業は、保存地区にある個々の建造物の修理修景事業を中心として進めている。

修理5件、復元1、合計6件

(南丹市伝建補助金総額 16,651千円 [*国庫補助・府伝建補助金含む])

南丹市美山町北伝統的建造物群保存地区事業一覧

番号	区分	記号	概要	事業費(円)
1	中野 里司	S-01-①	茅葺屋根修理	4,418,000
2	中野 里司	S-01-①	杉皮葺庇修理	1,718,000
3	中野 浩喜	S-04-①	主屋外壁修理	725,000
4	前田 征紀	M-01-①	杉皮葺庇復元	2,880,000
5	中野 秀雄	K-12-①	茅葺屋根修理	5,051,000
6	筒井 恒明	N-10-①	杉皮葺庇修理	5,757,000

2. 茅葺民家保存修理事業

南丹市美山町内に現存する北山型住宅の茅葺屋根を保存し、美しい町並みと集落景観を守るため、要綱に基づき補助金を交付する。

修理件数8件(南丹市補助金総額 *6,042千円)

茅葺民家保存修理事業一覧

番号	区分	概要	所在地	補助金額(円)
1	足利榮治家住宅	茅葺屋根葺替	小淵	1,533,000
2	菅生哲二家住宅	茅葺屋根葺替	長谷	1,513,000
3	外山保男家住宅	茅葺屋根葺替	静原	318,000
4	竹澤朝四郎家住宅	茅葺屋根葺替	島	581,000
5	井上稔彦家住宅	茅葺屋根葺替	田歌	213,000
6	磯部清太郎家住宅	茅葺屋根葺替	野添	580,000

7	西尾晴夫家住宅	茅葺屋根葺替	島	950,000
8	中島紀子家住宅	茅葺屋根葺替	長谷	354,000

3. 南丹市文化財等補助事業

市内に所在する国・府・市の指定文化財並びに未指定文化財等に対して、要綱に基づき補助金を交付する。

修理等件数 24 件

(1) 主な修理事業

<京都府指定・登録文化財等補助事業>

・摩気神社（平成 28～29 年度 2 か年事業）

事業概要：本殿東西摂社覆屋屋根（茅葺）修理工事

事業費：2,297 千円【28 年度】（府 1,460 千円、市 418 千円）

<京都府文化財を守り伝える京都府基金等事業費補助事業>

・大原神社

事業概要：本殿修理工事

事業費：2,531 千円（府 1,686 千円、市 422 千円）

補助金事業一覧

(1) 国指定文化財維持管理費補助事業

名 称	文化財名称	事業内容	事業費	府補助	地 元	市補助
九品寺	大門	防災設備保守点検	36,720	7,000	15,720	14,000
普濟寺	仏殿	防災設備保守点検	38,880	9,000	15,880	14,000
普濟寺	仏殿	危険木伐採	2,100,000	—	—	—
春日神社	本殿	防災設備保守点検	88,560	21,000	34,560	33,000
大山祇神社	本殿	防災設備保守点検	44,280	12,000	16,280	16,000

(2) 京都府指定・登録文化財等維持管理費補助事業

名 称	文化財名称	事業内容	事業費	府補助	地 元	市補助
摩気神社	本殿・東西 摂社	防災設備保守点検	54,000	—	—	—
摩気神社	府文化財環 境保全地区	環境整備	2,484,000	—	—	—
鹿嶋神社	本殿	防災設備保守点検	41,040	12,000	15,040	14,000
荒井神社	本殿	防災設備保守点検	54,000	12,000	21,000	21,000
多治神社	府文化財環 境保全地区	環境整備	88,766	—	—	—
八幡神社	本殿	防災設備保守点検	43,200	9,000	17,200	17,000
生身天満宮	府文化財環 境保全地区	環境整備	420,000	—	—	—
生身天満宮	本殿	アライグマ対策	122,040	—	—	—

(— : 未決定)

(3) 京都府指定・登録文化財等補助事業

名称	文化財名称	事業内容	事業費	府補助	地元	市補助
摩気神社	本殿	東西摂社覆屋 茅葺屋根修理	2,297,000	1,460,000	419,000	418,000

(4) 京都府社寺等文化資料保全補助事業

名称	文化財名称	事業内容	事業費	府補助	地元	市補助
蓮乗寺	本堂 (未指定)	本堂銅板屋根 全面葺替	26,978,400	1,418,000	25,060,400	500,000
栄久院	絹本著色十 六善神像 (未指定)	保存修理	3,168,720	567,000	2,301,720	300,000
加茂神社	本殿 (未指定)	本殿修理	3,370,464	1,194,000	1,676,464	500,000
生身天満宮	宝物蔵 (市指定)	宝物蔵修繕	864,000	306,000	279,000	279,000
浄教寺	紙本墨画虎 図(未指定)	保存修理	2,098,440	567,000	1,231,440	300,000
普門院	本堂 (未指定)	樋、縁板、堂内修理	1,157,424	410,000	374,424	373,000
日吉神社	拝殿 (未指定)	拝殿修理	475,200	168,000	154,200	153,000
大隠寺	山門及び袖 塀(未指定)	山門及び袖塀修理	1,308,344	463,000	423,344	422,000

(5) 文化財を守り伝える京都府基金等事業費補助金

名称	文化財名称	事業内容	事業費	府補助	地元	市補助
大原神社	本殿 (未指定)	本殿修理	2,530,200	1,686,000	422,200	422,000
加茂神社	覆屋 (未指定)	覆屋改修	3,938,914	1,396,000	2,192,914	350,000

☆ 埋蔵文化財発掘調査事業

1. 立会調査

文化財保護法に基づく発掘調査の届出を基に開発事業との調整を図る。
立会調査件数 5件 (10月時点)

届出通知件数一覧

	埋蔵文化財発掘届出 (民間)				埋蔵文化財発掘届出 (公共)		
	工事立会	慎重工事	発掘調査	その他	発掘調査	工事立会	慎重工事
計	3	18	0	0	0	2	0
総合計	23						

2. 発掘調査

間伐事業等に伴い発掘調査等を実施

南丹市が実施した調査

番号	遺跡名	回数	所在地	調査原因	調査種別
1	島城跡		美山町島	林道設営のため	測量

3. 保存処理

金属器の保存処理は、国庫補助事業として業務を委託し、実施した。

出土遺物保存処理一覧

番号	出土地	種類	点数	備考
1	城谷口古墳群	鉄鏃等	19	

南丹市指定文化財天然記念物（樹木）の指定について

【選定の趣旨】

- 京都丹波高原国定公園の指定により「森の京都」として、京都丹波が注目されている。
 - ・身近な文化財に気づいてもらう大きな契機
 - 南丹市指定文化財としての樹木指定（天然記念物）を行う。
- 合併10周年を迎え
 - ・樹木指定を契機として新たな文化遺産の継承を行うと共に、今後の足掛かりとしたい。

【現状】

- 天然記念物指定における旧町間のばらつき
 - ・美山町域8件に対し、他町0件
- 市発足以後、文化財指定がない現況
 - ・調査による選定リストが未作成状況にある。

【文化財指定に向けた取り組み】

- 樹木調査の実施
 - ・専門家（京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター）による調査
 - 選定リストの作成
- 審議会における検討
 - ・指定する樹木の検討
- 京都府の取組との連動
 - ・「森の京都」の動きのある本年度に樹木指定を進めることにより市民の認知度を上げる。
- 教育委員会への報告

南丹市指定文化財天然記念物（樹木）の指定について

1. 審議会における検討

- ・平成27年度第1回文化財保護審議会

- 内容 文化財指定にかかる事務を開始することについて。

- 委員は現地調査の際に同行する方針となった。

- 文化財指定に当たっては重要な樹木を優先したいとの意見があった。

- ・平成27年度第2回文化財保護審議会

- 内容 文化財の指定基準を内規として定めた。

- 樹木の現地確認については各地区の委員毎に行うこととなった。

- 現地調査については日吉地域、園部地域、八木地域の順に進めることになった。

- ・平成28年度第1回文化財保護審議会（予定）

- 内容 候補樹木について、指定文化財として相応しい樹木の絞り込みを行う。

2. 審議会における絞込み

○15本の樹木をリストアップ

※専門家による指定判断 (A) ランク

スギ (8)、ケヤキ (3)、ムクノキ、カヤ、ハクモクレン、モミ

○分布状況

園部 (4) …ムクノキ、カヤ、スギ (2)

八木 (10) …ケヤキ (3)、スギ (5)、ハクモクレン、モミ

日吉 (1) …スギ

○文化財審議会における絞込み (別紙2-1)

- ・園部、八木、日吉の各地区に分かれて現地確認 (別紙2-2、2-3、2-4)
- ・現地確認後、地域毎に評価を行う。
- ・現地確認後の評価を受けて、候補となる樹木を選んでいく。

○代表者会議における検討結果 (別紙2-5)

- ・園部地域に所在する樹木3本について高く評価できる。
 - ・天引八幡神社のムクノキ
 - ・南陽寺内カヤ
 - ・摩気神社口の天狗杉

【候補リスト】

地域	区名	所在地	樹種	樹高 (m)	幹周 (m)	総合評価
園部 (4)	天引	八幡神社	ムクノキ	22	8	
	美園町	南陽寺内	カヤ	17	3.8	
	竹井	摩気神社社有林 口の天狗杉	スギ	40	6.7	
	竹井	摩気神社社有林 奥の天狗杉	スギ	35	7.5	
八木 (ケヤキ) (3)	北屋賀	北屋賀八幡神社	ケヤキ	24	5.5	
	日置	日置大送神社	ケヤキ	18	5.1	
	本町1丁目	黒住教跡	ケヤキ	21	5.6	
八木 (スギ) (5)	神吉上	神吉上日吉神社	スギ	43	5.7	
	神吉下	神吉下八幡神社裏側	スギ	42	4.85	
	船枝	船枝帝釈天	スギ	38	5.1	
	神吉下	神吉下八幡神社	スギ	32	4.7	
	神吉上	神吉上日吉神社	スギ	43	3.9	
八木 (その他) (2)	室橋	室橋如城寺	ハクモクレン	15	2.65	
	氷所	氷所氷室神社	モミ	27	3.15	
日吉 (1)		笛吹神社	スギ	34	6.5	

【評価項目】

地域	区名	所在地	樹種	樹勢	評価	アクセス	地元同意 所有者同意	歴史性	総合評価
園部	天引	八幡神社	ムクノキ						
	美園町	南陽寺内	カヤ						
	竹井	摩気神社社有林 口の天狗杉	スギ						
	竹井	摩気神社社有林 奥の天狗杉	スギ						
八木 (ケヤキ)	北屋賀	北屋賀八幡神社	ケヤキ						
	日置	日置大送神社	ケヤキ						
	本町1丁目	黒住教跡	ケヤキ						
八木 (スギ)	神吉上	神吉上日吉神社	スギ						
	神吉下	神吉下八幡神社裏側	スギ						
	船枝	船枝帝釈天	スギ						
	神吉下	神吉下八幡神社	スギ						
	神吉上	神吉上日吉神社	スギ						
八木 (その他)	室橋	室橋如城寺	ハクモクレン						
	氷所	氷所氷室神社	モミ						
日吉		笛吹神社	スギ						

別紙 2 - 1 審議会における絞込み

南丹市文化財保存審議会 文化財候補樹木現地確認

- ・日吉町内調査（別紙 2 - 2）
 - 日時 平成 28 年 6 月 8 日（水）
 - 参加者 片山委員、小南委員、湯浅委員
 - 概略 日吉町内の候補では笛吹神社のスギが最有力との見解。

- ・園部町内調査（別紙 2 - 3）
 - 日時 平成 28 年 6 月 27 日（月）
 - 参加者 河原委員、上田委員
 - 概略 園部町内の候補では天引のムクノキ、摩気の口の天狗杉、南陽寺のカヤが有力との見解。奥の天狗杉は山深くに所在のため優先順位を低くする。

- ・八木町内調査（別紙 2 - 4）
 - 日時 平成 28 年 6 月 30 日（木）
 - 参加者 湯浅委員、湯浅委員、大槻委員
 - 概略 八木町内の候補としてはケヤキでは北屋賀、スギでは神吉日吉神社、その他では如城寺のハクモクレンが有力との見解。

- ・全体調整会議【代表者会議】（別紙 2 - 5）
 - 日時 平成 28 年 7 月 28 日（木）
 - 参加者 河原委員、大槻委員、片山委員、東委員
 - 概略 これまでの調査で有力と見られた候補を各地域の代表の委員と確認する。
文化財の管理について話題となった。その結果、
園部の天引八幡神社のムクノキ、摩気神社の口の天狗杉、美園町南陽寺のカヤの 3 件を文化財指定の候補として進めるのがよいのではないかという見解となった。選出の主な理由は管理団体が保全に積極的であり、指定以降も十分に保全されると思われるため。
日吉の笛吹神社のスギ、八木の北屋賀のケヤキと神吉のスギについては管理について調整が必要と思われるため今回は候補から外すことが適当と判断した。
八木の如城寺のハクモクレンについては、八木の他の候補に比べ評価が一段落ちるため、併せて候補から外すこととなった。

別紙2-2 [日吉地区]

・笛吹神社スギ

上記の他、B ランク以下の下記樹木を確認した。

- ・生畑道路沿いのケヤキ
- ・多治神社のタラヨウ (2本)
- ・小多治神社のモミ
- ・小多治神社のカシ

総合評価

地域	区名	所在地	樹種	樹勢	評価	アクセス	所有者同意 地元同意	歴史性	総合評価
日吉		笛吹神社	スギ	○	◎	○	—		4

別紙2-3 [園部地区]

- ・南陽寺内カヤ
- ・口の天狗杉
- ・奥の天狗杉
- ・天引八幡神社ムクノキ

上記の中から優先、価値を判断

総合評価

地域	区名	所在地	樹種	樹勢	評価	アクセス	所有者同意 地元同意	歴史性	総合評価
園部	天引	八幡神社	ムクノキ	○	◎	○	○		5
	美園町	南陽寺内	カヤ	○	○	○	○		4
	竹井	摩気神社社有林 口の天狗杉	スギ	○	○	○	○		4
	竹井	摩気神社社有林 奥の天狗杉	スギ	○	○	×	○		3

別紙2-4 [八木地区]

樹種毎に優先、価値を検討

<ケヤキ>

- 1、北屋賀八幡神社前ケヤキ
- 2、黒住教跡ケヤキ（京都の自然200選）
- 3、日置大送神社ケヤキ

<スギ>

- 1、神吉上日吉神社スギ（京都の自然200選）
- 2、神吉下八幡神社裏スギ
- 3、船枝帝釈天スギ
- 4、神吉下八幡神社スギ
- 5、神吉上日吉神社スギ

<その他>

- 1、室橋如城寺ハクモクレン
- 2、氷所氷室神社モミ

○上記樹種ごとの検討から下記に絞り込み

- ・北屋賀八幡神社前ケヤキ
- ・神吉上日吉神社スギ
- ・室橋如城寺ハクモクレン

総合評価

地域	区名	所在地	樹種	樹勢	評価	アクセス	所有者同意 地元同意	歴史性	総合評価
八木 (ケヤキ)	北屋賀	北屋賀 八幡神社	ケヤキ	○	◎	○			4
	日置	日置 大送神社	ケヤキ	○	○	○			3
	本町 1丁目	黒住教跡	ケヤキ	○	○	○			3
八木 (スギ)	神吉上	神吉上 日吉神社	スギ	○	◎	○			4
	神吉下	神吉下 八幡神社裏側	スギ	○	○	○			3
	船枝	船枝帝釈天	スギ	○	○	○			3
	神吉下	神吉下 八幡神社	スギ	○	○	○			3
	神吉上	神吉上 日吉神社	スギ	○	○	○			3
八木 (その他)	室橋	室橋如城寺	ハクモクレン	○	◎	○			4
	氷所	氷所氷室神社	モミ	○	○	○			3

地域	区名	所在地	樹種	樹勢	評価	アクセス	地元同意 所有者同意	歴史性	総合評価
園部	天引	八幡神社	ムクノキ	○	◎	○	○		5
	美園町	南陽寺内	カヤ	○	○	○	○		4
	竹井	摩気神社社有林 口の天狗杉	スギ	○	○	○	○		4
	竹井	摩気神社社有林 奥の天狗杉	スギ	○	○	×	○		3
八木 (ケヤキ)	北屋賀	北屋賀八幡神社	ケヤキ	○	◎	○			4
	日置	日置大送神社	ケヤキ	○	○	○			3
	本町1丁目	黒住教跡	ケヤキ	○	○	○			3
八木 (スギ)	神吉上	神吉上日吉神社	スギ	○	◎	○			4
	神吉下	神吉下八幡神社裏側	スギ	○	○	○			3
	船枝	船枝帝釈天	スギ	○	○	○			3
	神吉下	神吉下八幡神社	スギ	○	○	○			3
	神吉上	神吉上日吉神社	スギ	○	○	○			3
八木 (その他)	室橋	室橋如城寺	ハクモクレン	○	◎	○			4
	氷所	氷所氷室神社	モミ	○	○	○			3
日吉		笛吹神社	スギ	○	◎	○			4

【絞り込みの結果】

地域	区名	所在地	樹種	樹高 (m)	幹周 (m)	備考
園部	天引	八幡神社	ムクノキ	18~27	8	高く評価できる(別紙)
	美園町	南陽寺内	カヤ	17	3.8	高く評価できる(別紙)
	竹井	摩気神社社有林 口の天狗杉	スギ	40	6.7	高く評価できる(別紙)
八木 (ケヤキ)	北屋賀	北屋賀八幡神社	ケヤキ	24	5.5	住宅地の内に樹生しており、今後の管理を考えると管理者との綿密な調整が必要となる。
八木 (スギ)	神吉上	神吉上日吉神社	スギ	43	5.7	ワイヤーで引っ張る等樹木保全のための補強をしており、管理者との調整が必要になると思われる。
八木 (その他)	室橋	室橋如城寺	ハクモクレン	15	2.65	八木地域の候補と比べて全体に小振り。
日吉		笛吹神社	スギ	34	6.5	

現地調査の結果、上記7本の樹木が候補となった。

	評価点
美園町南陽寺内カヤ	樹勢よく健康で、樹形も美しい。日本最大のカヤは福島県桑折町にある万正寺の大カヤ(樹高16.5m、幹周8.7m、推定年齢900年、福島県天然記念物)で、樹高はこの大カヤを勝っている。
天引八幡神社ムクノキ	ムクノキは主に山地から低地の森林内に生息し、人家の周辺の神社等によく見かける。 八幡神社のムクノキはこうした特徴を併せ持つが、樹高が非常に高く、国の天然記念物である椋本の犬ムク(三重県津市、樹高25m)に近い大きさである。
摩気神社口の天狗杉	樹勢は良好で、枝もしっかりしている。候補リストとして、スギは園部から2本、八木から5本、日吉から1本の計8本を調査した。 樹高は40mを超え、幹周りは6.7mで8本中2位と堂々としており、天狗が住んだという伝承から口の天狗杉と呼ばれている。地域の伝承も加味された樹木として評価される。

たい こん じ やま てん ぐ すぎ
胎金寺山の天狗杉

—竹 井—



ま け じん じや おく みやま
摩気神社の奥の宮山
に何百年たったかわか
らない杉の大木が、谷
の口と山の奥に1本ず
つ天にそびえるように
立っています。口の天
狗杉・奥の天狗杉とい
っています。天狗が住
んでいるというのでこ
うよんでいます。

昔、村の人が2～3
人つれだって山仕事に
行き、ついおそくなっ
て夕方近くになりました。
すると、天狗杉の上で
コロコロコロ・ド
ンドンドンと太鼓をた
たくような、物をころ
がすような妙な音がし
ました。村人はうす気
味悪くなって「アッ、
天狗が出た」と大いそ
ぎで山を駆け降りて逃
げ帰りました。それか
ら村人は、一人でおそ
くこの山へ行くのを恐
ろしがるようになりました。

3. 指定文化財に向けた動き

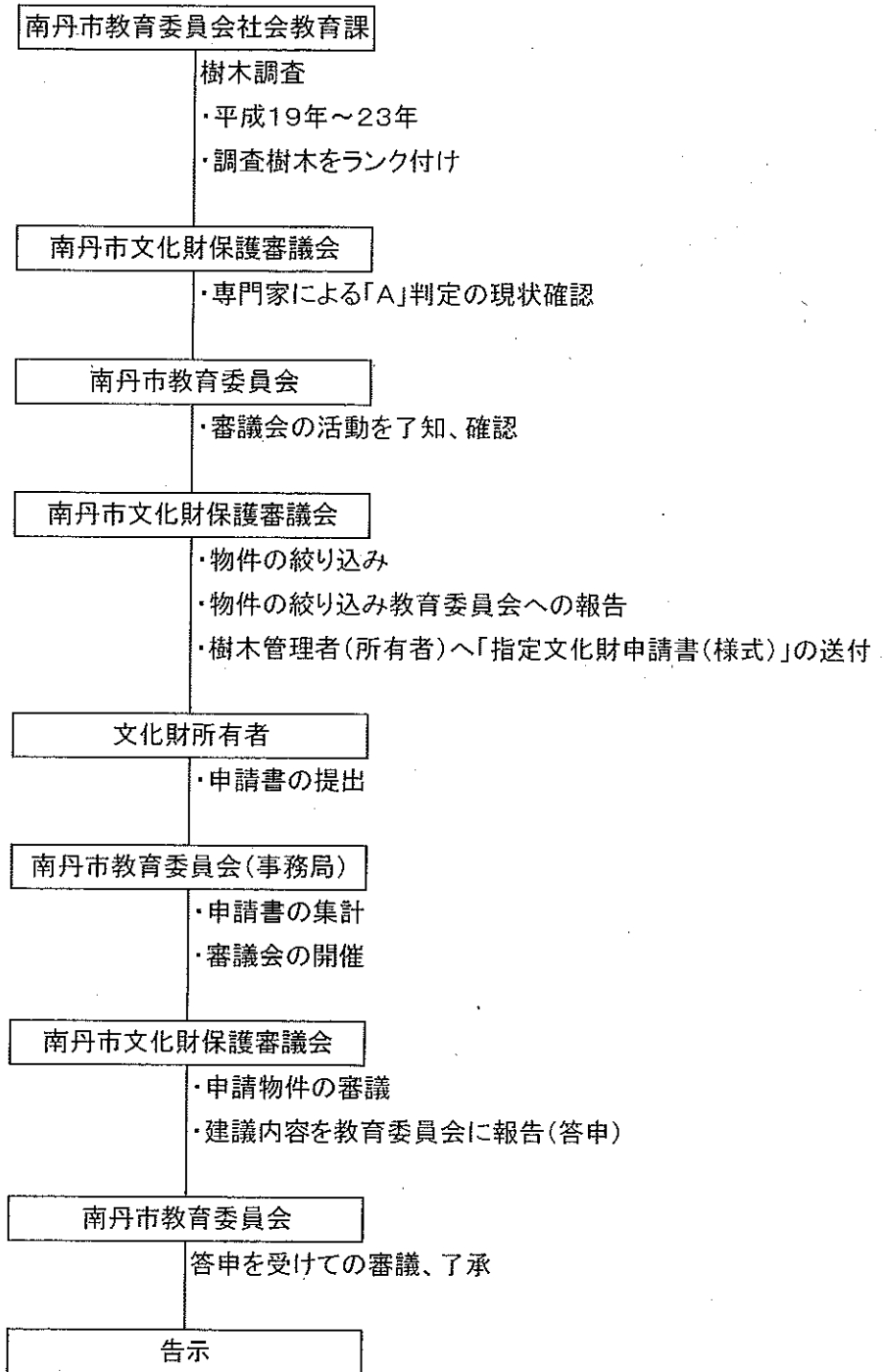
○文化財審議会における検討の結果

- ・ 3件の樹木について高く評価することができる。
 - 天引八幡神社ムクノキ
 - 南陽寺内カヤ
 - 摩気神社口の天狗杉

○今後の樹木指定に向けた動き

- ・ 南丹市文化財審議会の開催
- ・ 文化財所有者からの「指定文化財申請書」の提出
- ・ 南丹市文化財保護審議会における審議
- ・ 教育委員会による審議内容の了承
- ・ 告示

別紙3-1 樹木指定に向けた動き



4. 指定樹木候補

○南陽寺のカヤ（別紙4-1）

所在 南丹市園部町美園町 南陽寺境内

樹高 17m

幹周 3.8m

樹齢 推定 250 年生以上

概要 南陽寺境内に所在する2本のカヤのうち、北側のもの。

南側のカヤが風除けとなるため、樹勢も旺盛で、樹形も美しい。

○摩気神社の「口の天狗杉」（別紙4-2）

所在 南丹市園部町竹井 摩気神社社有林内

樹高 40m

幹周 6.7m

樹齢 推定 300～350 年生

概要 摩気神社社有林内に所在する杉の一本。奥の天狗杉の対となる。

樹勢は健康であり、幹腐れ等は目視では確認されなかった。

○天引八幡神社のムクノキ（別紙4-3）

所在 南丹市園部町天引 八幡神社境内

樹高 22m

幹周 8m

樹齢 推定 400 年生

概要 天引区の八幡神社の境内に所在するムクノキ。

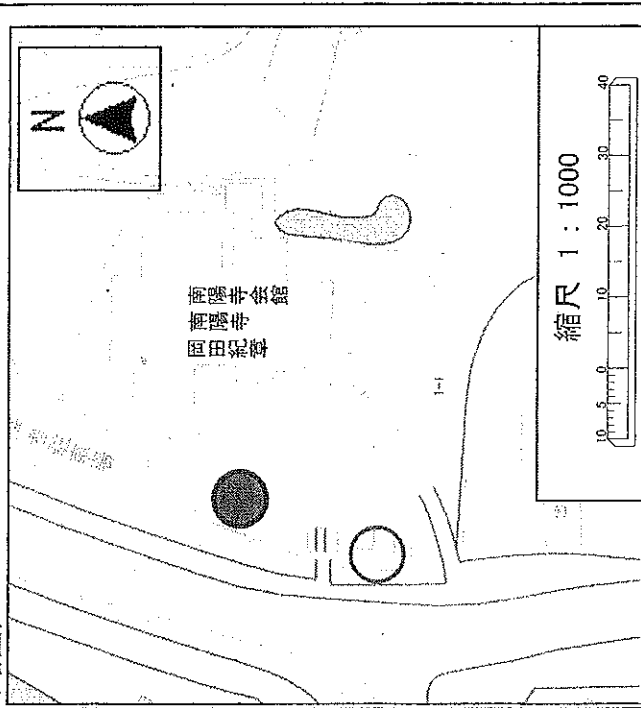
樹勢は健康であり、枝振りも素晴らしい。

南丹市史跡名勝天然記念物調査台帳

(名称) 南陽寺のカヤ

種別	史跡、名勝、天然記念物(動物、植物、地質鉱物)
名称	南陽寺のカヤ
所在地	園部町美園町 南陽寺境内
土地所有者	国有 公有() 民有() 宗教法人南陽寺
価値	I II III
指定緊急度	I II III
環境	南陽寺の境内に位置している。 南側にもう一本カヤが生息しており、これが風除けとなっている。
概要	カヤ 樹高17m、幹周3.8m 枝張は東西に20m、南北に19m 樹勢もよく、健康である。樹形も美しく整っている。
形態	
特徴	幹も太く、枝振りも素晴らしい。
保存範囲 面積 〔 〕	
参考文献	
その他	南側のカヤは指定候補ではないが、北側のカヤの風除けになる等、生息環境に関わっている。
補足資料	位置図・写真台帳・調査票・その他()
記載年月日	
	記載者

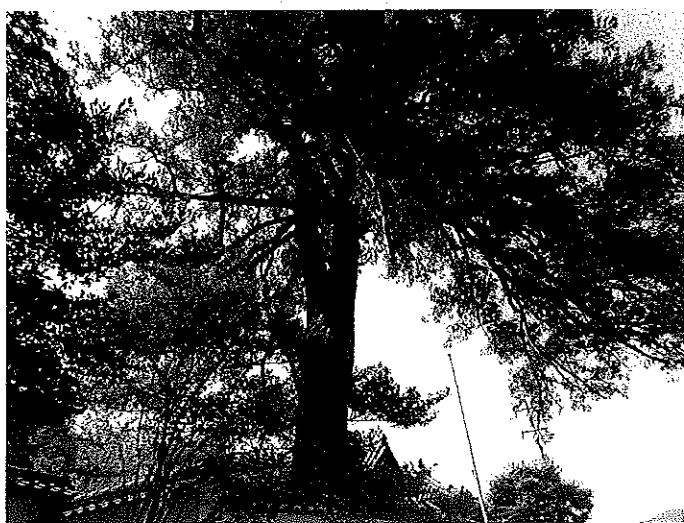
(略図)



(説明)

南陽寺境内のカヤ2本のうち、北側のもの

別紙4-1 ○南陽寺のカヤ

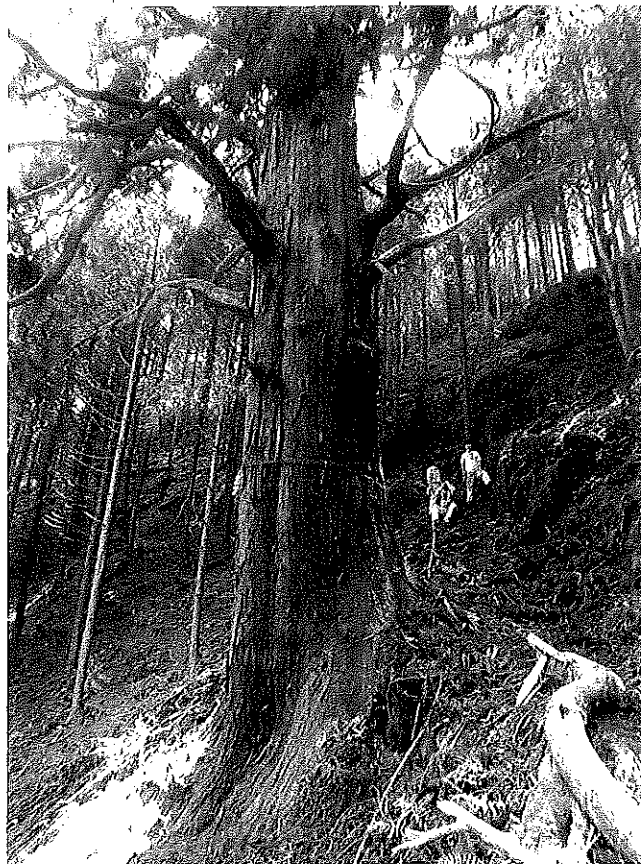


南丹市史跡名勝天然記念物調査台帳

(名称) 口の天狗杉

種別	史跡、名勝、天然記念物(動物(植物)、地質鉱物)
名称	口の天狗杉
所在地	園部町竹井 摩気神社社有林内
土地所有者	国有 公有() 民有() 宗教法人摩気神社
価値	I II III
指定緊急度	I II III
環境	園部町竹井の摩気神社社有林内に位置している。 胎金寺山の谷筋の斜面に生息している。 管理者により直近の木々は間伐されており、開けている。
形態	スギ 樹高40m、幹周6.7m 樹勢は良好であり、力枝もしっかりしている。 目視による観察では幹腐れなども見られず、非常に健康であるといえる。
概要	奥の天狗杉と併せて地元で伝承が残っている。 また、斜面に所在するため、根が半ば地表に現れており、根元周りの保護が今後必要となるかもしれない。
保存範囲	面積 []
参考文献	(説明) 摩気神社より胎金寺山登山道を約500m登った地点
その他	
補足資料	位置図・写真台帳・調査票・その他()
記載年月日	
記載者	

別紙4-2 ○摩気神社の「口の天狗杉」

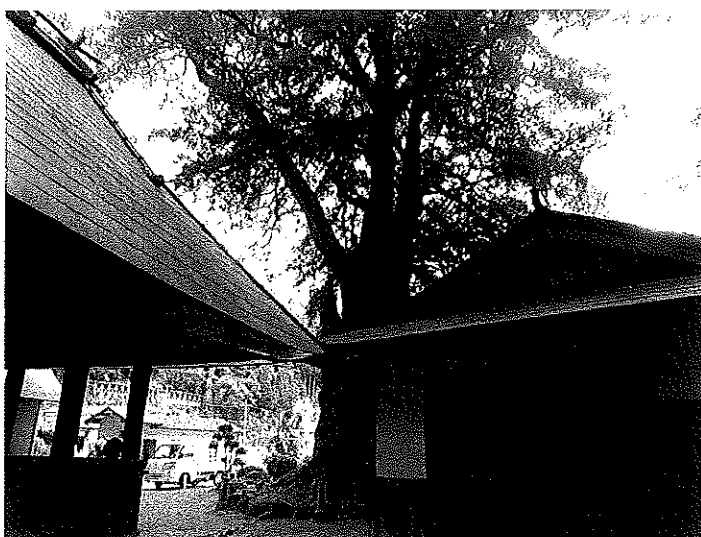


南丹市史跡名勝天然記念物調査台帳

(名称) 天引八幡神社のムクノキ

種別	史跡、名勝、天然記念物(動物(植物)、地質鉱物)	
名称	天引八幡神社のムクノキ	
所在地	園部町天引 八幡神社境内	
土地所有者	国有 公有()	民有 宗教法人八幡神社
価値	I II III	III
指定緊急度	I II III	III
環境	南丹市園部町天引の八幡神社の風致林内に位置している。平成28年の現地確認時点では管理者となる地元団体も保全・活用に積極的であり、十分な管理が期待できると思われる。	
形態	ムクノキ 樹高22m、幹周8m 成長がよく、樹勢の衰えは見られない。	
特徴	枝振りもよく、境内を広く覆っている。根系も同じ規模で広がっていると思われるため、根系の保護を検討する必要があると思われる。	
概要	参考文献	
	その他	
	補足資料	位置図・写真台帳・調査票・その他()
	記載年月日	記載者
(略図)		
(説明)	天引区の八幡神社の拝殿横に位置する。	

別紙4-3 ○天引八幡神社のムクノキ



別紙5

○近隣市町の指定状況の概要

ムクノキ…亀岡市、宮津市

カヤ…京丹波町、舞鶴市

スギ…京丹波町、福知山市、宮津市、京丹後市

○ムクノキは、南丹市以外では亀岡市、宮津市での指定がある。

天引八幡神社のムクノキは、近畿地方で5本の指に入るほどの大樹である。

○カヤは京丹波町、舞鶴市、京都市、宇治市、宇治田原町で指定が見られる。

南陽寺のカヤは樹高17m、幹周3.8mあり、同16m、4.1mの京丹波町のカヤと比べて遜色ない大きさのものである。

○スギは京丹波町、福知山市、宮津市、京丹後市、和東町で指定がみられる。

口为天狗杉は樹高40mを測り、京都府指定天然記念物の南丹市園部町にある朝倉神社の大杉に匹敵する大きさである。

<近隣市町の指定状況>

亀岡市 (5)	綾部市 (無し)	舞鶴市 (7)	京丹後市 (9)
・イチョウ		・イチョウ	・スダジイ (2)
・コノハナザクラ	福知山市 (18)	・カヤ	・大ブナ
・カゴノキ	・ケヤキ (2)	・シイ林	・海浜植物群自生地
・ムクノキ	・マルバヤナギ	・しだれ桜	・ムクロジ
・コウヤマキ	・スギ (3)	・リンボク	・ツブラジイ
	・イチョウ	・オオキンレイカ	・杉
京丹波町 (9)	・イタヤカエデ	・スダジイ	・エノキ
・七色の木	・ウラゲトチノキ		・タラヨウ
・カヤ	・ウラジロガシ	宮津市 (3)	
・スギ (3)	・カツラ	・逆スギ	
・アラカシ	・カゴノキ	・ムクノキ	
・イチョウ	・スダジイ	・椎林	
・ケヤキ (3)	・モミ		
・ヒノキ	・タブノキ	与謝野町(3)	
・フジ	・シラカシ	・スダジイ	
・イチイガシ	・アカガシ群	・ユブシ	
	・クスノキ	・ボダイジュ	

南丹市文化財（有形文化財・美術工芸品・歴史資料）の指定について

【選定の趣旨】

- 貴重な蔵書を含む典籍群で、目録として整理を実施し報告書を刊行した。
→今後、歴史遺産として後世に伝えていくため南丹市の文化財として指定を行う。

- 南丹市合併10周年を迎え
→新たな文化遺産の継承を行うと共に、今後の足掛かりとしたい。

【現状】

- 美術工芸品（歴史資料）の指定状況
→南丹市においては歴史資料としての資料はない
（指定されれば「歴史資料」として最初の指定になる）

- 南丹市発足以降の新規文化財指定
→新たな指定はないが本資料は目録が作成されており、整理された状態にある。

【文化財指定に向けた取り組み】

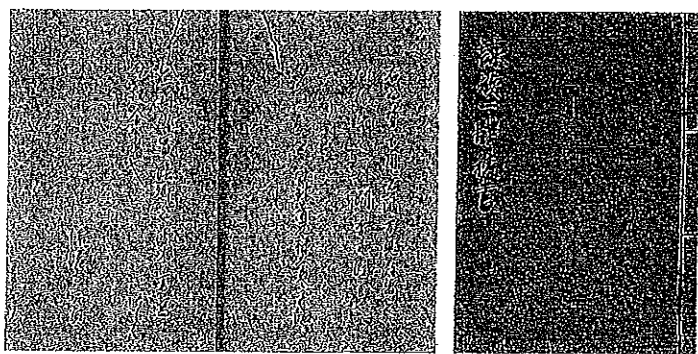
- 調査及び報告書の刊行
平成21年度 和書の目録作成
（『南丹市文化博物館蔵 小出文庫和書目録』平成22年1月31日発行）
平成23年度 漢籍の目録作成
（『南丹市文化博物館蔵 小出文庫漢籍古書分類目録』平成24年3月30日発行）

- 審議会における検討
→平成27年度第2回審議会において現地確認を実施
→平成28年度 史料（小出文庫）の法量の採寸、奥付の確認作業を実施。

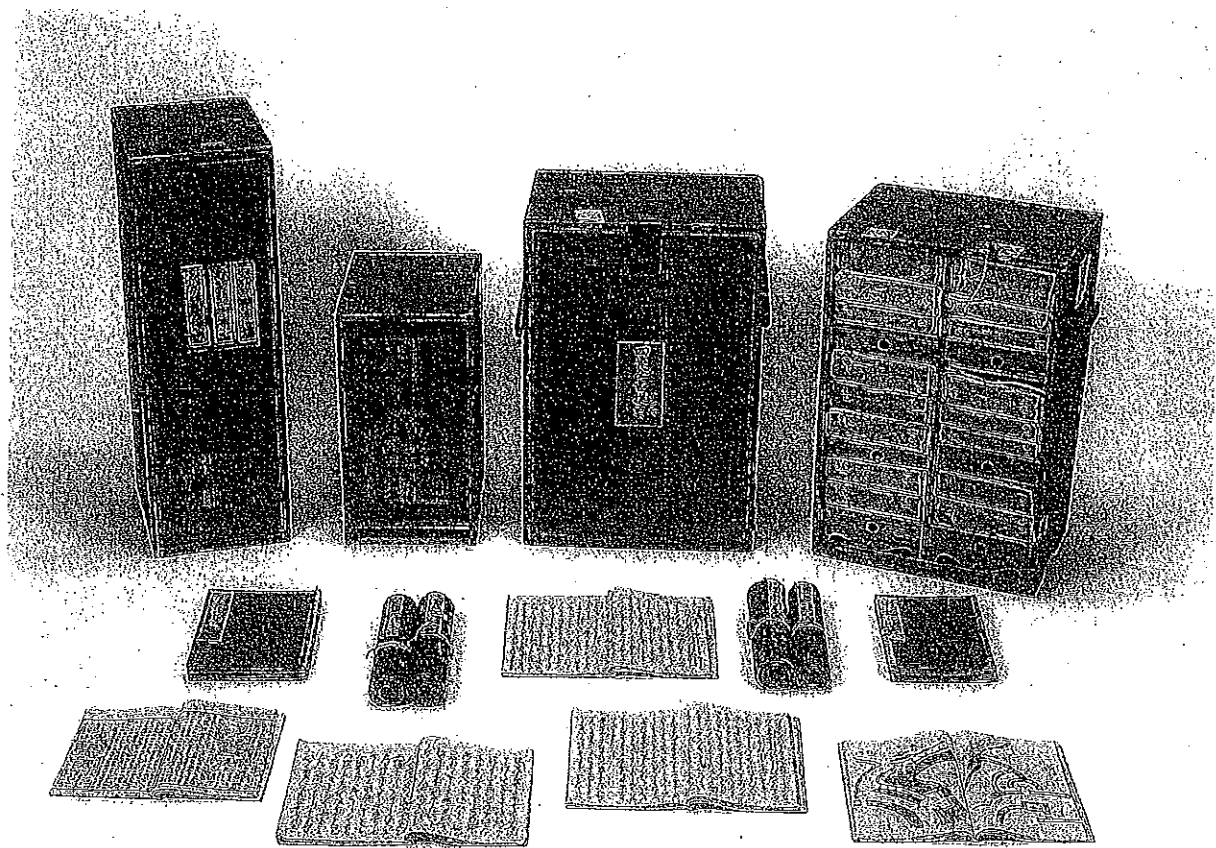
南丹市立文化博物館の収蔵品のなかに、「小出文庫」という資料があります。小出文庫は藩主小出氏の蔵書本および藩校で使用されたと伝えられている典籍群です。漢籍類が多くありますが、その内容としては、和歌集、歴史、辞書類など多岐に渡っています。主として江戸時代の写本や版本ですが、室町時代の写本や藩主が自ら書写したものも含まれています。

これら小出文庫に含まれる典籍群は廃藩後、園部藩校の教師劉石秋・劉冷窓に師事し、自らも藩校の講師となった上野盤山が管理していました。盤山はこれらの典籍群が散逸してしまうことを憂っていました。盤山はこれら小出文庫が設置され、そして盤山自身の蔵書も納められます。

小出文庫は教育振興のためとして、園部尋常高等小学校の校地に設置されたことから、その後は小学校附属の図書館へ、そして園部町立図書館へと引き継がれていきました。その過程で、小学校の図書や町立図書館などの蔵書類も混入した可能性があります。このために廃藩後の出版物も含まれています。つまり、博物館収蔵品の「小出文庫」は、小出氏（園部藩）・上野盤山・尋常高等小学校・町立図書館の蔵書で構成されているものと考えられます。しかし、これらの蔵書は、園部藩が存在した時から今日へと受け継がれていることには変わりがなく、「小出文庫」は地元に残る遺品ともいえます。



4代英貞自筆「詠歌一體抜書」(小出文庫のうち)



74. 小出文庫 当館蔵